

# TDU *Agora*



**TDUの国際交流** ..... 1  
～国際センターの取り組み～

## CONTENTS

今月の顔 宍戸真 教授(システムデザイン工学部) .....	3	キャンパスよもやま情報 .....	5
キラリ★電大生 ミャッ エンダラ スユエさん (工学研究科 電気電子工学専攻) .....	4	News .....	6
		Information .....	7



東京電機大学神山治貴海外留学派遣奨学生、水田さん  
アメリカ合衆国議会議事堂での記念写真(特集より)



## TDUの国際交流 ～国際センターの取り組み～

海外協定校  
アメリカのフェアモント州立大学

新型コロナウイルス感染拡大を受け、留学が難しい状況が続いていますが、国際センターでは留学生の受け入れや、オンラインでの海外留学を促進し、英語学習の機会の提供や費用補助を行っています。

留学生の受け入れに関しては、入学前の説明会や数学講座を実施し、入学後は日本語授業や日本語個別指導、個別カウンセリングに対応。また、アドバイザー制度やチューター制度を整え、各キャンパスにラウンジを設置し、日本人学生との交流団体である留学生会のサポートも行っています。一般財団法人日本語教育振興協会が主催する、2021年「日本留学 AWARDS～日本語学校の教職員が留学生に勧めたい進学先～」では、東日本地区大学(理工系)部門で、10年連続の入賞を果たしました。

日本人学生の送り出しに関しては、オンラインでの短期海外留学プログラムを中心に実施しました。来年度以降の長期留学については、今年度の「東京電機大学神山治貴海外留学派遣奨学金」奨学候補生が決定し、長期留学に向けて準備を始めたところです。また昨年度より「TDU留学ガイド」を作成し、留学情報の発信も積極的に行っています。

英語学習では、海外学会参加に向けての英語レッスンを行い、本学の英語ネイティブの先生による「イングリッシュラウンジ」での英語クラスを開講しました。また、国際学会の参加費補助や英語論文添削費の補助を行いました。



2021年度 日本留学 awards 賞状



留学生会  
クリスマスパーティー  
パンフレット

2022年度 留学ガイド

## 留学生入試合格者対象説明会

留学生支援の一つとして、本学に合格した留学生に対して説明会を実施しました。今年度は「在学留学生が教える東京電機大学・大学院での授業・研究・学生生活」と題して、在学留学生に大学の勉強や日本での生活について説明してもらいました。4名の在学留学生に本学での体験を話してもらい、本学を選んだ理由や勉強時間、研究内容、東京電機大学に留学してよかったことなどについて発表がありました。また楽しみながら日本や東京電機大学を知ってもらうため、昨年度は、クイズと俳句(川柳)大会を行い、さらに本学卒業生に関連のある企業のクイズや本学学生に知っておいてほしい企業情報を提供しました。俳句(川柳)大会では、松尾芭蕉の有名な句である「古池や蛙飛びこむ水の音」を紹介しながら俳句の作り方を説明し、その後みんなで俳句や川柳を楽しく作りました。留学生からは、「参加してよかった」「クイズは難しかったが、とても面白かった」「日本とTDUのことをいろいろ学べました」などの感想が寄せられました。

### ●合格者説明会



東京電機大学  
特別選抜(外国人)入試合格者対象説明会  
「在学留学生が教える大学・大学院での  
授業、研究、学生生活」

International Center TDU



クイズのツールKahoot!で遊ぼう!

- スマホで右上のQR codeを読み取ってください
- PIN番号・自分の名前を入力してください
- スマホがクイズのコントローラーになります

練習	1回目	2回目
8476108	5322525	

<https://kahoot.it/>

International Center TDU

## 東京電機大学神山治貴海外留学派遣奨学金

本学名誉博士の神山治貴氏より、学長賞を受賞した学生に対し、修士又は学部在学中に海外留学の機会を提供できるよう、2016年に「東京電機大学神山治貴海外留学派遣奨学金」制度の運用を開始しました。本奨学金は、「学長賞を受賞している優秀な学生が、将来、技術力と英語力を兼ね備えたグローバル人材となり、リーダーとして日本社会に貢献できるよう、在学中に英語圏の大学に留学し(専門科目の)単位を取得してほしい」という神山治貴氏のご意向によるものです。

これまで学長賞受賞者の中で、本奨学金を受給して11名の学生が留学を経験し、アメリカ、オーストラリア、フィンランドの大学で、それぞれ半年から1年間、専門科目を履修し、単位を修得してきました。2019年8月からは4名の学生がアメリカに留学しました。2020年度はコロナウイルス感染拡大の影響により海外渡航が叶いませんでしたが、学生1名がオンラインでオーストラリアの大学院留学を実現させています。

情報環境学専攻2年の水田瑠美さんは、学部4年から修士1年にかけての2019年8月から2020年5月まで、アメリカのフェアモント州立大学に留学しました。コロナウイルス感染拡大の影響により、2020年3月に急遽帰国し、その後はオンラインで授業を受けることになりましたが、フェアモント州立大学ではコンピュータサイエンスを専攻し、英語と専門科目を履修して忙しい毎日を送りました。勉強以外では、留学生との交流や長期休暇でのWashington D.C.への旅行が心に大きく残っているそうです。

国際センターでは、今後も留学生支援並びに国際交流に関する事業を進めてまいります。



フェアモント州立大学入学式



入学式後のバーベキューパーティー

# 世界に羽ばたく技術者を！

～国籍を問わず、本学に集う学生や教職員が技術で世界に貢献できるようサポート～

宍戸 真 教授(システムデザイン工学部 英語系列/国際センター長)



University of the Pacific 大学院修士課程修了。国際基督教大学大学院教育学研究科博士後期課程満期退学。東北大学大学院情報科学研究科博士(学術)取得。日本獣医生命科学大学、順天堂大学医学部を経て、2012年 本学情報環境学部教授、2017年システムデザイン工学部教授。2018年より国際センター長。  
日本の大学の授業で初めてAI英会話ツールを導入するなど、実践的な対話型の英語スピーキングに重点を置いた学習を促進。

## グローバルな視点を持つ学生の育成

国際センターは、本学の教育・研究活動の一層の国際化を図ることを目的として2009年11月に設置されました。本学の中長期計画にある「グローバルな視点を持つ学生の育成を目指す」ことや2016年度以降のグローバル戦略を念頭に、「日本人学生の海外留学、海外派遣数の拡大」、「外国人留学生の質の向上」、「教職員の英語能力の向上」を目標として活動を行っています。今後、新型コロナウイルス感染症の収束時期を見据えながら、グローバル戦略の達成をめざし、経済的な支援策に関しても見直しを行っております。私は、2018年4月から国際センター長に就任し、現在まで2期4年にわたり本学の研究、教育における国際交流をますます活発化するため、業務に携わってきました。

## コロナ禍での国際交流

2020年3月までのコロナ禍以前は、海外の協定校の訪問、交流関係の強化、さらなる協定校の拡大をめざし、海外の大学を訪問しておりました。2019年度には、新たな協定校として英国ノーザンプトン大学と学術協定を締結しました。また、神山治貴海外留学派遣奨学金の受給学生5名をアメリカの協定校に送り出し、夏季・春季の海外短期研修には100名を超える学生が参加しました。



カリフォルニア州立大学ロングビーチ校訪問



来日できない留学生のためのオンライン日本語指導

2020年4月以降は、海外渡航が制限され、現地を直接訪問できないため、コロナ禍における国際交流を模索し、オンラインでの交流を中心に語学研修、学生間の交流を行っています。語学研修をオンラインで実施するほかに、協定校の学生との英語・日本語のランゲージエクステンションを目的とした交流会、英語でのプレゼンテーション練習、入国制限のため来日できない新入生を対象としたオンラインでの日本語指導などを行っております。学生募集に関しても、オンラインで中国向けの大学紹介を行いました。

今後の新型コロナウイルス感染症の収束を見据え、日本人学生の海外留学、海外派遣数の拡大という目標を達成するため、さらに多くの学生を海外に送り出す方策を考えていきたいと思っております。



フェアモント州立大のマーチン学長(中央)、ハーヴィー副学長(左)とともに

## 学生の皆様へ

将来Global Engineerとして世界を舞台に活躍することをめざし、学生時代に一度は海外へ行きましょう。英語が得意でなくても、様々なコミュニケーション手段を駆使して、異文化体験を楽しんでください。



中国向けのオンライン大学説明会

# 技術者を目指しミャンマーから留学

～日本材料学会第7回材料WEEK若手学生研究発表会にて、優秀講演賞を受賞～

ミャツ エンダラ スユエ(工学研究科 電気電子工学専攻 修士2年)



材料WEEK若手学生研究発表会にて、優秀講演賞を受賞

私は6年前にミャンマーから本学の工学部 電気電子工学科へ入学しました。

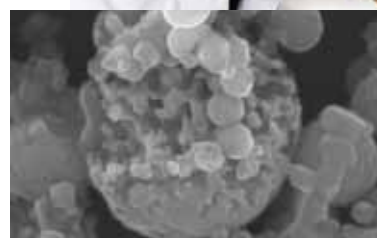
本学に入学する前は、ミャンマーのタンリン工科大学の電子工学科に在籍していました。しかしながら発展途上国であるミャンマーには大学での研究環境や設備などが揃っておらず、技術者を目指す者として文面上だけの学びに将来の不安を感じ、世界でもトップクラスの技術を持つ日本に留学することを決めました。そして初代学長丹羽保次郎先生の「技術は人なり」と言う言葉に感銘を受け、東京電機大学に入学することを決めました。しかし私立大学であるため学費面に不安などがありました。幸いにも当時、ミャンマーの大学長から公益財団法人ヒロセ財団をご紹介いただき、東京電機大学とミャンマー両大学の推薦をいただき入学当初から現在まで奨学金を受給しています。



ミャンマーのタンリン工科大学にて

学部3年時に現在所属するナノエネルギー研究室の佐藤慶介教授と将来を相談する機会があり、私が元々興味があった医療分野の研究をご指導いただくことになりました。現在は東京慈恵会医科大学と合同研究として、シリコンナノ多孔粒子や表面加工を施したシリコン基板を用いた臨床検査材料の開発の研究を行っています。近年新型ウィルスの流行により多くの命が危険にさらされている中、早期発見・早期治療が必要不可欠となっています。現在私が行っている研究は、そのような新しい感染症などの臨床検査にもすぐに対応でき、信頼性も高い新しい診断材料として期待され、この度「日本材料学会第7回材料WEEK若手学生研究発表会」において『優秀講演賞』を受賞させていただきました。

来年度からは博士課程に進学し、引き続き研究活動に励んでいく予定です。私の母国では医学と工学は別物という考えがあり一緒に研究することは珍しいことです。ミャンマーにおいて医工学の第一人者になり、将来、日本とミャンマー両国に貢献できるように頑張っていきたいと思っています。



研究室では臨床検査材料の開発を研究

東京千住キャンパス

### 東京大雪



1月6日、東京都心では昼頃から雪が降り始め、夕方には10センチの積雪となり2018年以来の大雪となりました。何年ぶりかの雪景色に心が躍った方も多いことでしょう。

1月7日は年末年始の休業明けの仕事始めでしたが、朝の通勤途中で誰かが作った雪だるまを見つけ、ほっこりしました。昼には近隣の子もたちがキャンパスの周りで雪遊びする姿が見られ、賑やかな年の始まりとなりました。(総務部 渡辺)

埼玉鳩山キャンパス

### 施設見学会



11月・12月に、受験生を対象とした施設見学会を開催しました。主要施設をはじめ研究室や実験の実演等を組み込んだキャンパスツアー、学生生活を話題とした座談会、質問コーナー等を在学生主体で行いました。少人数かつ予約制での開催であったため、在学生と受験生間のコミュニケーションが取りやすく、和気あいあいとした様子が見られました。コロナ禍だからこそ開催された初めてのイベントでしたが、受験生にとって本学での学生生活を具体的にイメージできるきっかけとなればと願います。(理工学部事務部 米山)

東京小金井キャンパス

### コンピュータプログラミング教室

中学校・高等学校では、11月20日に第2回コンピュータプログラミング教室(小学6年生対象)を開催しました。7月3日の第1回では、密を避けるために10名限定でしたが、今回は定員30名で開催しました。教室の内容は、Excel VBA を使って四則計算ソフトを作成するもので、高校2年生のコンピュータ部員がコロナ禍の時間制限があるなか練習を重ね、講師を務めました。参加者の声では、生徒さん達が優しく丁寧でとても楽しかった、この学校でもっと詳しく学びたい、子供の様子が楽しそうだったので保護者も参加したかった等、とても好評でした。(中学校・高等学校情報理工科目主任 山住)



## 校友会だより

### 大学同窓会は設立70周年を迎えます

新年あけましておめでとうございます。2022年も東京電機大学校友会をどうぞよろしくお願いいたします。

初代会長の故・大平力(おおひら つとむ)氏が中心となって1952年3月に設立された東京電機大学同窓会は、2022年で70周年を迎えます。

現在大学同窓会では、記念式典・記念イベント等を企画中です。各イベントの詳細につきましては、大学同窓会からのご案内をお待ちください。



## ピックアップ! 出版局



出版局より、新刊の紹介や話題の本、イベントなどのホットな情報を掲載!

2021年12月の新刊は、地球温暖化対策・脱炭素社会実現に貢献する技術についてまとめた書籍です。



## よくわかるトライボロジー

村木正芳 著 A5判・232頁 3,190円

トライボロジー全般の基礎を容易に学べるように、分野の偏りが無いようレベル合わせを行う。

また最近の研究成果やトライボ設計に使える式を適宜盛り込むなど工夫した。

## &lt;ピックアップ! 重版本&gt;

重版決定の書籍3点をご紹介します! 教科書として多くの学校で採用される書籍です。



## 制御工学の基礎

足立修一 著 A5判・296頁 2,970円

はじめて「制御工学」を学ぶ人に向けてまとめた一冊。理解を深めるために各章にクイズを設け、習熟具合を確認しながら学習を進められる。



## 工学のためのVBAプログラミング基礎

村木正芳 著 A5判・208頁 2,420円

身近にあって扱いやすいExcel VBAによりプログラミングを学ぶ入門実習書。応用編では数値計算の代表的仮題を取り上げ、数学的処理の考え方を提示。



## 学生のための情報リテラシー Office2016/Windows10版

若山芳三郎 著 B5判・296頁 2,530円

Microsoft Officeを活用して情報リテラシーを身につけるテキスト。実践的な例題を手順にそって丁寧に解説。課題学習型で実力がつく。

★出版局ではメールマガジンを配信しております。ご希望の方は、当URLよりご登録ください!  
<https://web.tdupress.jp/mailmagazine/>

## 新しい時代を拓いた科学・技術 vol.49

## フランク・ロイド・ライト アメリカ合衆国 ● 1867年～1959年

空間の魔術師

「あなたが本当にそうだと信じることは、  
常に起こります。  
そして、信念がそれを起こさせるのです」

## 建築に新たな潮流を開いた

ヨーロッパの権威主義的・古典主義的な建築様式が主流だった時代に、「プレイリー・スタイル」(草原様式)を提唱し注目を集めました。これは、自然との融合や水平線を意識した住宅で、建物の高さを抑え、部屋同士を完全には区切らずに緩やかにつなぐデザインに特徴があります。自然との調和や共生を全面に打ち出した、大富豪カウフマンの邸宅「落水荘」が有名です。また、中産階級向けのコンパクトで魅力的な「ユースニアン・ハウス」も設計しました。さらに現代建築の機能重視の傾向に対し、建築材料と環境を重視した「オーガニック・アーキテクチャー」(有機的建築)を提唱し、後進の建築家やデザイナーに大きな影響を与えました。アメリカ以外の仕事は、カナダと日本(帝国ホテル旧本館ほか)のみ。日本の美術品、特に浮世絵の収集でも有名でした。



©TDU

大学で土木を勉強しましたが中退、設計事務所で働き始めます。その後、女性スキャンダル、破産、火事、社会からの追放などの困難が連続。しかし、グッゲンハイム美術館(ニューヨーク)など数多くの名作を生み出すとともに、建築学校「タリアセン」では共同生活を軸とする建築家の育成を行いました。

今月の俳句

教職員親睦会「千住俳句会」

減塩の皿に一匙柚味噌かな  
秋小寒今宵の酒は何にする  
団栗を踏みては固き石畳

明(井川明)

陽一(阿部陽一)

七美男(松田七美男)

# Information

## サイバーセキュリティシンポジウム in TDU 2022

地域医療用IoTシステムの共通基盤の研究開発成果を発表

～2月21日(月) ハイブリッド開催(ウェビナー形式・500名・無料)～

2月21日に「サイバーセキュリティシンポジウム in TDU 2022」を開催します。本学が実施している、地域医療用IoTシステムに重点化した「リモートメンテナンスを伴うTrustworthyな地域医療用IoTシステムの共通基盤の研究開発」を発表します。

また、共同研究者の米国メトロポリタン州立大学のJigang Liu教授による、「An Ontology-based Framework for Medical IoT Forensics」に関する特別講演を行います。



米国メトロポリタン州立大学のJigang Liu教授

日時 2022年2月21日(月) 13:00～16:45

開催方法 ハイブリッド形式 学外者:オンライン配信 (Zoom ウェビナー)

学内者:東京電機大学 東京千住キャンパス 1号館 1204室

参加費 無料 (事前登録制)

申込み 事前申込制。QRコードよりお申込み下さい。

- 特別講演** An Ontology-based Framework for Medical IoT Forensics  
Jigang Liu 教授 (Metropolitan State University)
- ブランディング事業全体+敷布IoTモニターにおける装置異常と生体異常の検知・識別  
植野 彰規 教授 (工学部)
- 臨床領域ごとの機器群のパッケージ化による機器の運用管理のための要素技術研究  
桑名 健太 准教授 (工学部)
- IoTにも対応可能な軽量暗号化の支援技術  
上野 洋一郎 教授 (システムデザイン工学部)
- 医療用IoTシステムの異常原因をベイジアンネットワークを利用して切り分ける方式の開発  
佐々木 良一 顧問・客員教授 (研究推進社会連携センター)
- レジリエントシステムの開発に向けて  
本間 章彦 教授 (理工学部)
- IoT技術で実現する機器・生体モニタリング技術/ベイジアンネットワークを用いた動的な異常要因検知システムのデモンストレーション  
岩井 将行 教授 (未来科学部)

問合せ 東京電機大学 研究推進社会連携センター  
(研究推進担当) TEL. 03-5284-5230

▶お申し込みはこちらから



### 編集後記

国内の新型コロナウイルス新規感染者数は過去最多を更新し、1月21日、東京など1都12県に「まん延防止等重点措置」が適用されました。そんな中、受験シーズンはこれからが本番となります。コロナ禍で激変した学習環境の中、様々な制約を受けてきた受験生。皆さんの努力が実を結ぶことを祈っています。

# TDU

学校法人東京電機大学 (総務部企画広報担当)

〒120-8551 東京都足立区千住旭町5番

TEL. 03-5284-5125 FAX. 03-5284-5180

E-mail: soumu-kikaku@jm.dendai.ac.jp

https://www.dendai.ac.jp/



この印刷は環境保護の為、印刷に伴う廃液を排出しないシステムで印刷されています。